

※本学図書館で所蔵している本は書名に赤線を引いています。資料ID番号で検索すると利用状況がわかります。

【音楽学部 音楽総合学科】

1

- (1) 書名 民族音楽学 12 の視点
- (2) 著者名 徳丸 吉彦 (監修) 増野 亜子 (編)
- (3) 出版社名 音楽之友社
- (4) 配架場所 7階開架閲覧室
- (5) 請求記号 761.15/Ma64 (資料ID 13617589)
- (6) 推薦コメント

題名にある「民族音楽学」は西洋音楽を含め世界の音楽を対象とする音楽学
の分野です。1.「音楽と身体」で演奏する自分を考えてください。そして、3.
「聴こえるものと見えるもの」で、楽譜の問題を教えてください。さらに、「越境・
ディアスポラ」で、西洋音楽がなぜ日本に越境しているのかを考えなおして
ください。どの章からも、音楽を実践することの意味を考えるヒントが得られま
す。

2

- (1) 書名 音楽で脳はここまで再生する：脳の可塑性と認知音楽療法
- (2) 著者名 奥村 歩
- (3) 出版社名 人間と歴史社
- (4) 配架場所 7階開架閲覧室
- (5) 請求記号 493.72/055 (資料ID 03123243)
- (6) 推薦コメント

認知音楽療法について説明しているものである。交通事故などにより大けが
をした患者が音楽を使った治療で回復していった症例が多く掲載されている。
音楽が機能回復に役立つことを実例で理解できるので、学生にはその部分だけ
でも読んでほしい。

3

入荷しました

- (1) 書名 アバドのたのしい音楽会
- (2) 著者名 クラウディオ・アバド
- (3) 出版社名 評論社 (児童図書館・絵本の部屋)
- (4) 配架場所 5階開架こども図書館
- (5) 請求記号 E (資料ID 13781265)
- (6) 推薦コメント

※本学図書館で所蔵している本は書名に赤線を引いています。資料ID番号で検索すると利用状況がわかります。

これは、世界的名指揮者クラウディオ・アバド（1933～2014）が書いた絵本です。「絵本」ですから平易な文体で書かれており、楽器や楽譜、演奏形態等についてわかりやすく説明されています。その部分も大切なのですが、音楽に生きようとする学生の皆さんには、音楽とは何かという根源的な事柄や、音楽に対する姿勢など、アバドが発したメッセージを読み取っていただけることでしょう。気持ちを新たに音楽と向き合える一冊です。